

「小規模だからできる教育活動、

病院の中だからこそできる学びの実現」

会津支援学校竹田校

教頭 江見 浩二



新型コロナウイルス感染症が、5類感染症として法的に位置づけられて七か月が過ぎ、徐々に三年前の日常が社会全体に戻りつつあります。振り返ると、学校では令和二年三月に感染拡大防止のため休校となり、以降、次々と教育活動が制限される事態に陥りました。学校として当たり前のことが当たり前でなくなる戸惑いと不安、期待していた行事や授業が規模縮小や中止になる落胆と喪失感が学校全体を覆い、その中で児童生徒は、複雑な思いを抱えながらも精一杯学んできました。しかし、保護者の皆様方、病院の方々を始めとする多くの地域の方々が、児童生徒の命と教育を守るために、学校の取り組みを理解し協力してくださり、苦しい期間ではありましたが、同時に多くの励ましと温かい支援をいただくことができた貴重な三年間でもありました。御支援をくださいました皆様方に心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス禍を経て、竹田校も新たなステージに立ち始めています。医療の進歩とインクルーシブ教育の進展により、竹田校に在籍する児童生徒

数は減少傾向にありますが、入院児童を対象とした学習支援は、小中学部とも増加しています。地域支援では、病室と在籍校をオンラインで結んだ授業の支援も軌道に乗り、高等学校に対して遠隔授業用にICT機器の貸し出しを行うことも始まりました。授業では一昨年から行ってきた岩手県立盛岡青松支援学校の生徒とのオンライン授業が、国語を中心に県立博物館事業との連携授業として実施されてきました。理科や総合の授業でもオンライン授業を実施し、回数を増やしてきています。小規模校どうしが連携して対話的・協働的な学びを実現しようとする取り組みが実を結んできています。SDGs実現の取り組みとして行ってきたエコキャップの回収は、竹田総合病院の職員や来院する方々の協力により、他校に匹敵する量のキャップをNPO団体に引き渡すことができました。学校として、小規模校だからこそできる教育活動は何か、病院の中だからこそできる学びは何かを求めていく中で、他校にはない豊かな教育が展開できることが形になってきています。



協力依頼をする様子



生徒が作成したポスター

世界に目を向けると、戦争によって国を追われ家族を失った人々が増え続け、苦難が途切れることはありません。だからこそ、今、ここで生きる子どもたちの未来を支えていくことが学校の大きな使命です。これからも引き続き皆様の御支援をお願いいたします。

活動紹介

中学部修学旅行（東京）

（九月二十～二十二日）

中学部三年生のビッグイベントといえば、修学旅行です。今年は二泊三日で東京に行きました。上野を拠点として品川、神保町、浅草など、山手線や地下鉄を駆使して都内を周遊。素敵な古書との出会いを求めて一万歩。鑑賞、学び、体験、そして東京下町のローカルフード「もんじゃ焼き」に大満足。多くの経験と学びを得ることができました。事前学習では、ChatGPTを使ってもんじゃ焼きを調べたり、電車の路線や乗り方を調べたりしてきました。現地では、切符を買うことや間違えないように電車に乗ることなどは、少し難しかったようですが、とてもよい経験になりました。



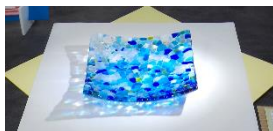
とても高かった！



じっくり選んでいます

修学旅行の主な活動

- ユニセフハウス見学
 - ※エコキャップ回収とSDGsとの関連を学ぶ
- 西洋美術館で鑑賞
- 上野駅周辺
- 古書街散策
- 浅草寺
- 東京スカイツリー
- 田畑ガラス工房
 - ※ガラスの皿の制作
- 鉄道での様々な移動





竹田フェスティバル

(十一月三日)

竹田校は少人数の学校ですが、人数が少ないという点などもせず、「竹田フェスティバル」は盛大に開催されました。

テーマ
竹田フェスティバル2023
『みんなで創る みんなが主役』
ひとりひとりが輝けるように！



今年、「みんなで創る みんなが主役」にふさわしい新企画「合同制作」を実施しました。児童生徒や教員、保護者、来場者、みんなで「ビッグフォト」を制作したり、児童生徒と教員で、竹田フェスティバルのテーマ曲「RPG」(SEKAI NOWARI)を演奏したりと、一体感を感じられるものになりました。また、「学習発表」では、一人一人の学びや成長が、キャッチボール大会では、真剣な表情・協力の躍動・笑顔が至る所で見られ、会場全体が大盛り上がりを見せました。ひとりひとりが輝き、そして達成感や満足感を味わえたフェスティバルとなりました。



「合同制作」ビッグフォト完成！



大盛り上がりのキャッチボール大会

活 動 の 様 子

校外学習
(県立博物館でインタビュー)



歯科衛生講話



おでかけまほろん
ALT 訪問授業



感染症等予防講話
(手洗い実践)



高等学校見学
コパン見学



栄養講話での調理実習



看護学生とのふれあい



VRを利用した学習



岩手県立盛岡青松支援学校との合同授業(国語)




学習の様子(美術)



芸術鑑賞教室
(長谷川ファミリーコンサート)




ホームページ




note
(ノート)

こちらも続々更新中



本校ホームページのお知らせ

※随時更新中で
多くの方に閲覧いただいております。



ICT機器貸出はじめました
(学習のための)

○リモートで授業に参加する時、画面の向きを自由に変えたいと思うことはありませんか？

Kubi(クビー)という機械を使うと、離れた場所から自分で操作して見たい箇所を映すことができます。

※借用希望の方、詳しく知りたい方はご連絡ください。(電話番号右記)



タブレットを接続した kubi です。上下・左右、まるで首を動かすかのように接続部を動かして、見たい箇所を映すことができます。

地域支援センターからのお知らせ

地域支援センター『あいづっこ』では随時、教育相談を受け付けております。「入院によって学習の遅れが気になる」、「病弱の子どもの支援や配慮はどうすればよいのか」など、疑問や悩みに関する相談をお受けします。

※オンラインでの相談も可能です。

どうぞお気軽に、お電話ください。

【電話】0242-28-0640
【相談窓口】教頭、コーディネーター
【受付時間】月～金 九時～十六時

※「教育相談をお願いしたい」とお伝えください。相談内容や希望日時を伺います。

